

② 大規模化・激甚化する自然災害から県民の命と財産を守るための事前防災・減災対策の推進

● 洪水を防ぐ

1 河川の改修

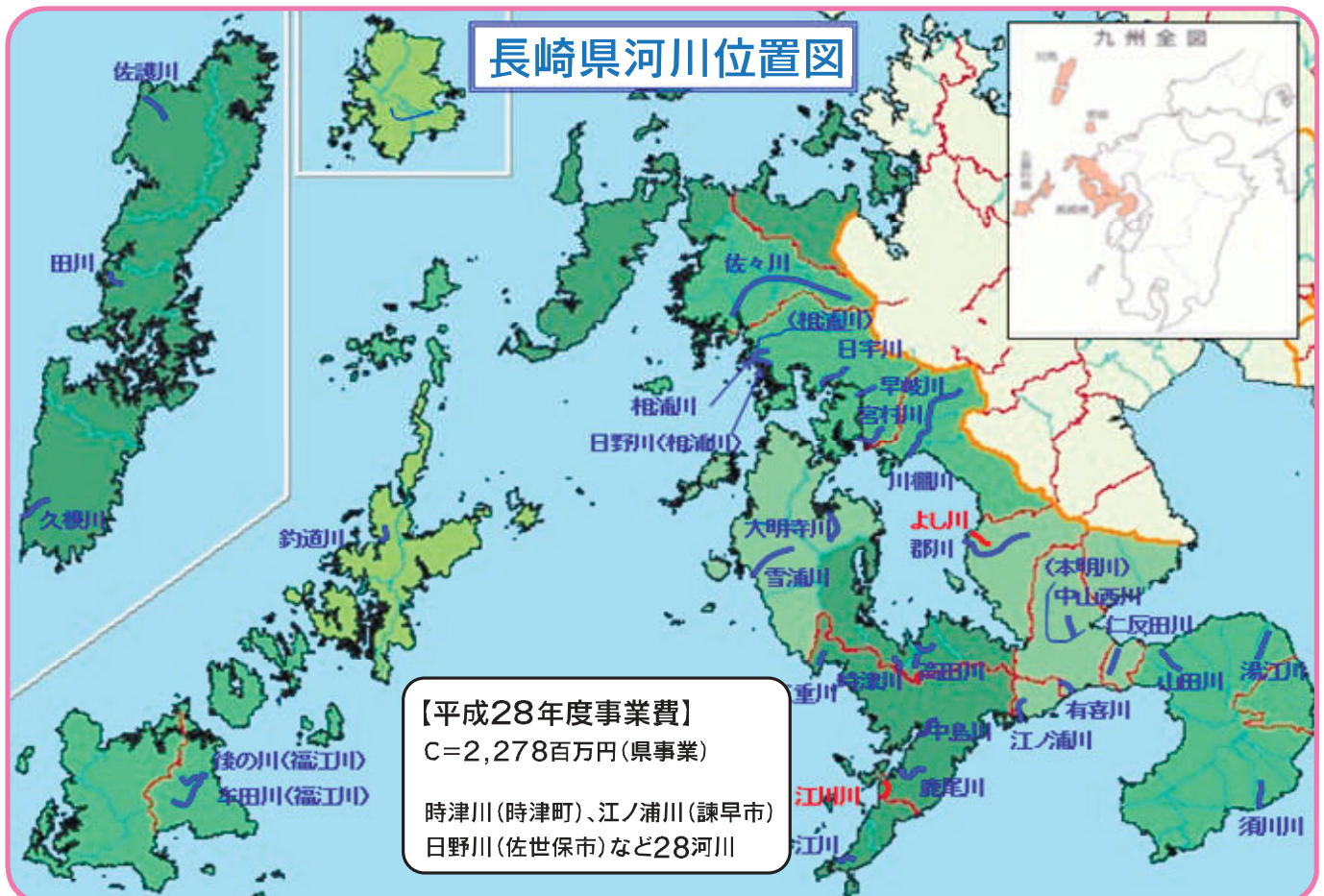
問合せ先 河川課

本県は、これまで幾度と無く集中豪雨による洪水に見舞われ、近年でも毎年のように浸水被害が生じていることから、洪水から沿川の人命や財産を守るために、河川の改修を推進します。

浸水状況



○目標・成果指標【河川沿川の浸水被害軽減戸数】 29,252戸 (H26) → 30,162戸 (H32)
河川を改修することにより、浸水被害を被っていた河川沿川の**浸水戸数を軽減**する。



時津川河川改修事業

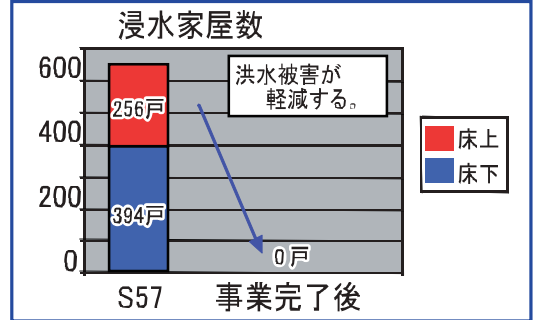
二級河川時津川水系時津川は、市街地を貫流し、また、河道が狭小なため、床上浸水被害が頻発しており、特に昭和57年の集中豪雨による出水では、浸水面積32.9ha、床上浸水256戸、床下浸水394戸の甚大な被害を生じた。

このことから、昭和63年度～平成33年度までの34ヶ年で河川改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。

【全体計画】

河川名：二級時津川水系時津川
 事業内容：掘削52千m³、護岸12千m²
 全体事業費：6,007百万円(国費3,003.5百万円)
 事業期間：S63～H33
 施工地：西彼杵郡時津町
 【平成28年度予算】
 事業費：174.0百万円
 工事概要：橋梁工(下部)1橋、用地補償1式

事業効果



【S57.7洪水 被害状況】



古川橋上空から撮影



古川橋上流から撮影



問合せ先 河川課

2 ダムの整備

洪水被害から沿川の人命や財産を守るとともに安定した水源の確保のため、ダム建設を推進します。

洪水の状況



長崎大水害（S57.7.23）の被災状況



平成2年水害（H2.7.2）の被災状況

川棚町



長崎大水害（S57.7.23）の被災状況

長崎市街



諫早大水害（S32.7.25）の被災状況



平成11年7月23日豪雨の被災状況

諫早市街

渇水の状況



散水車で水を陸上輸送



船舶で水を海上輸送



本明川の渇水状況

佐世保市 ○平成6年8月1日～平成7年4月26日
日本一厳しい給水制限264日間



本明川の渇水状況



佐世保市転石ダムの渇水状況



諫早市 ○本明川の水が不足し、魚が大量死
水不足による農作物被害約1億5千万円

「洪水調節」「既得用水の補給など流水の正常な機能の維持」「新規水道用水の確保」にこれまで整備した35基のダムが役立っています。

土木部所管のダム



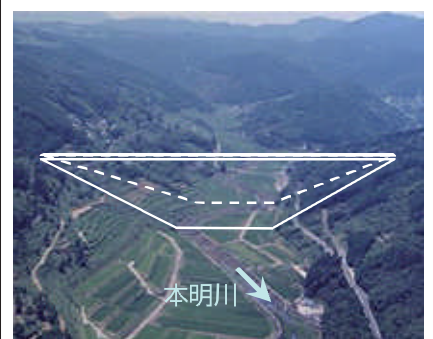
ダム建設事業



石木ダム建設事業 (写真は完成イメージ)
 位置: 川棚町岩屋郷
 目的:
 ① 川棚川の洪水調節
 ② 川棚町、佐世保市の既得用水の補給など流水の正常な機能の維持
 ③ 佐世保市の新規水道用水の確保
 事業主体: 長崎県、佐世保市
 事業期間: 昭和50年度～
 総事業費: 約285億円



浦上ダム建設事業 (写真は取設浦上ダ)
 位置: 長崎市昭和2丁目
 目的:
 ① 浦上川の洪水調節
 ② 長崎市の既得用水の補給など流水の正常な機能の維持
 事業主体: 長崎県、長崎市
 事業期間: 昭和58年度～
 総事業費: 約240億円



本明川ダム建設事業 (写真はイメージ)
 位置: 諫早市富川町
 目的:
 ① 本明川の洪水調節
 ② 諫早市の既得用水の補給など流水の正常な機能の維持
 事業主体: 国土交通省
 事業期間: 平成2年度～
 総事業費: 約500億円